



MISHIMA INTERNATIONAL
RELATIONS ASSOCIATION

MIRA 通信

<https://mishima-life.jp/mira/>

No. **102** 2017年

平成29年9月30日発行

三島市国際交流協会

〒411-8666

静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館

TEL (055) 976-1020

FAX (055) 976-1021

フレンドシップ 2017

パサディナで、国際交流!



姉妹都市のアメリカ・カリフォルニア州パサディナ市へ、青少年交流事業・フレンドシップ2017の参加中高生7名と引率2名（7月30日～8月7日）、夏期派遣研修生2名（同～8月20日）が訪問し、暑い・熱い交流を楽しみました。フレンドシップ参加の生徒たちは、現地の人とコミュニケーションをたくさん取る、英語がうまくなる、外国との違いを感じ取る、などそれぞれに目標を立て、その達成に向けて一生懸命頑張りました。とはいえ、最初は、英語が話せない、聞き取れないなど、なかなか難しかったようですが、ホストファミリーや現地の方々のフレンドリーでやさしい対応に助けられて、日が経つにつれすっかりリラックスできました。

期間中は、グリフィス天文台、カリフォルニア科学センター、戦艦USSアイオワ、ローズボウルの見学や、女子サッカー国際試合（アメリカvs日本）観戦、ユニバーサルスタジオなど、楽しい行事がいっぱいでした。全米日系人博物館では、戦時中に日系人がアメリカ国籍を持っていたにもかかわらず強制収容所へ送還されたという事実を目の当たりにして、とても勉強になる時間もありました。BBQパーティーでは、ドイツとフィンランドの姉妹都市の方たちとの交流もあり、ちょっぴりですが、国際人になった気がしました。たった1週間でしたが、その間に生徒たちは、めざましい成長を遂げたようです。

参加者 (敬称略)

矢野千寿穂(沼津市立高中等部 2年)

野坂 俊介(韮山高 1年)

佐藤 舞佳(南中 2年)

高木有希奈(不二聖心女子学院中 3年)

津留 幹太(日大三島中 2年)

浅香 桃杏(加藤学園暁秀中 3年)

濱田 碧生(中郷西中 2年)

夏期派遣研修生 佐々木萌花(青山学院大 3年)

鈴木 鼓(東京女子大 3年)

指導員 坂本 学 高田 麻理

(関連記事8ページ)



麗水市花園中学校 訪問団が来島

7月12日～16日

1997年に友好都市提携した中国浙江省麗水市の花園中学から、生徒13人と引率教師・通訳2人が、7月12日～16日にかけて三島を訪れました。13日は、市長表敬の後、中郷西中を訪れました。体育館でゲームを楽しんだり、授業を参観したり、給食を一緒に食べるうちに打ち解け、英語で会話にチャレンジする程になりました。体育館のゲームではハブニングが！指数字で誕生日を表して順に並び、全員で大きなサークルを作るのですが、日本と中国では指数字のやり方が違い戸惑う場面も。生徒たちは小さなことから国の違いを感じたようです。その後、葦山反射炉やスカイウォークを見学。14日は北上文化プラザでのそば打ち体験、富士山5合目散策。15日はホストファミリーと充実した時間を過ごし、夕刻からMIRA主催のお別れ会。翌16日朝、“三島で過ごした夏の思い出”を胸いっぱいに出発しました。



中郷西中を訪問



お世話係の皆さんと野口校長



野口校長(左)と朱先生



生まれた順に並んだよ!

中国語ってこうなんだ! //



石川先生は
手作りパンダで歓迎



授業に飛び入り参加!



昨年度麗水市派遣教師の石川先生

蕪山反射炉



そば打ち体験



三島スカイウォーク



ホストファミリーの皆さん
ありがとうございました!!

研修生とホストファミリーの皆さん

ホストファミリー

研修生

| | |
|----------|-----------------|
| 池ノ谷ファミリー | 張 凱 チャン カイ |
| 松下ファミリー | 王 語楽 ワン ユーラー |
| 松井ファミリー | 周 漁 チョウ ユー |
| 内藤ファミリー | 藍 琳珊 ラン リンジャン |
| 陶山ファミリー | 吳 詩 ウー シー |
| | 周 子涵 チョウ スーハン |
| 坂井ファミリー | 吳 芸蕊 ウー ユンシン |
| | 吳 皓月 ウー ハオユエ |
| 福岡ファミリー | 胡 馨予 フー シンユー |
| 中川ファミリー | 吳 依陽 ウー イーヤン |
| | 余 言 ユー イェン |
| 劉ファミリー | 陳 夢甜 チェン モンティエン |
| | 周 婵 チョウ チャン |

★引率教師 朱 明榮 ★通訳 馮 露露

世界の人たちは、どんな暮らしをしているの？

～向山小学校で 国際理解 講座を開催～

三島市国際交流協会(MIRA)は、向山小5年生に対する総合的学習の一環として、国際理解を深めるために講師派遣を依頼され、6月6日、ドイツのパウマン氏・カナダのモロイ氏・台湾の李氏・インドのシュクリシュナ氏・ペルーのケイラ氏を派遣しました。

授業は1カ国あたり15分間、5教室を巡る形で行われました。短い時間でしたが児童たちはそれぞれの国の言葉や生活の様子に興味を示し、特に食べ物の話では熱心にメモをとる姿が見られました。

外国人講師は、「ALTが学校に派遣されるようになり、英語圏以外の外国人が学校に呼ばれることが無くなって数年経つが、当時と比べてみると今の子は、外国人に接する機会が増えたことなどにより理解が進んだようだ。5年生がこれほどの理解力を持つとは思っていなかった」と感想を述べました。



ドイツ
「朝は白パンにバターやジャムをつけて、夜は黒パン(ライ麦パン)にハムやチーズをはさんで食べる」と紹介。ライ麦パンの試食では、酸っぱい味に子どもたちが驚いていました。



カナダ
英語とフランス語を話し、移民が多い国。ロブスター、タラの舌、ヘラジカステーキ等、ごちそうがたくさん！東海岸から西海岸までは、西海岸から日本への移動時間と同じ。



台湾
100を越えてさらに高くという意味の「101ビル」がある。通勤時のバイクの多さにびっくり！小籠包やかき氷など、おいしいものが日本の1/3の価格で食べられる。



インド
たくさんある言語の中から、ベンガル語でのあいさつ、数字の書き方を学んだ。片手だけで、20まで数えられる。5mもある民族衣装サリーの着付け、ターバンの由来なども説明。



ペルー
富士山の頂上より高い標高に住んでいて、とても寒い。厚い服が必要だが、アルパカの毛皮は高価なので羊の皮が一般的。空気がきれい、ばい菌がないから風邪もひかない。



ライ麦パンは
すっぱかったけど、
外国人の先生たちに会
えて楽しかったね♪

熱帯夜にも負けない
熱き受講者たち!!

夏期語学講座

平成29年度夏期語学講座は7月11日に開講式が行われ、8月29日までの期間中、午後7時より8時半まで全12回が開催されました。スペイン語と中国語講師は、例年人気の原ケイラ先生と張万英先生。英語は今年度からタイトルとスタイルを変更し、「英会話初級」と「おもてなし英会話」の2クラスが外国人講師3名によるリレー式指導で行われました。

スペイン語 ケイラ先生

女性に人気のスペイン語だが、生徒の目的は、スペインや南米への旅行、現地の友人との会話、趣味の継続などである。ケイラ先生によると、今回の生徒は皆優秀で、すでに簡単な会話はできるようになったそうだ。

初級英語 トニー先生

英会話初級では積極的な話しかけや会話持続の訓練が中心。おもてなし英語では将来民泊経営希望、外国人への日本語指導のツール、観光案内、学習の継続、外国人との友好などの目的が多いが、実際外国人と話す機会が少ないので今回の講師に満足しているとの声があった。

おもてなし英語
ジャスティン先生

おもてなし英語
デイル先生

中国語 張万英先生

同じ漢字の隣国ではあるが中国語は身振り手振りが全く違うと驚きつつ生徒は熱心に受講。多くの方を指導して国際交流の輪を広げたいと張先生は和やかに語る。

各クラスの授業風景

MIRAフラワーアレンジメント講座

6月24日(土)午後2時30分よりMIRA主催のフラワーアレンジメント講座が市民生涯学習センターで開催されました。「活け花を通じて外国人と触れ合おう」と、今回はシンガポール、マレーシア、オーストラリア、ルーマニア、台湾、中国出身の外国人8人を含む総勢18人が参加し、和気あいあいとした雰囲気で行われました。



夏のアレンジメント
・サンリッチ (ひまわり)
・りんどう・スターチス
・レザーファン・アイビー



当初アレンジに苦心していた参加者も、完成後の出来栄には大満足。嬉しそうに自分の作品を抱えて集合写真に入りました。「初めての経験で楽しかった」、「アートを表現してみた」、「自分のセンスが問われるので難しかった」、「小さな庭の中の自然の表現に努力した」、などの感想が聞かれました。テレビ静岡の取材もあり、講座参加者の楽しそうな様子が夕方のニュースで紹介されました。



James Molloy - MIRA Newsletter #13



JIMのみしまものがたり⑬

最良の薬



あなたのお気に入りの時間の過ごし方は何ですか？

私はこの質問をするのが大好きで、返ってくる様々な答えにいつも感銘を受けます。サッカーや野球などのチームスポーツを楽しむ人もいれば、ゴルフやヨガ、SUP（スタンドアップパドルサーフィン）といった個人スポーツで自分に磨きをかける人もいます。他にも、世界中の瓶の蓋や坂本龍馬の記念品収集、なかには日本各地のポケットティッシュをコレクションする、なんていう興味深い趣味もありました。

さて、あなたなら何と答えますか？何時間もゴルフ場で練習に打ち込みますか？毎週時間を見つけてはジムに通っていますか？外国語を勉強していますか？

私はというと、好きな過ごし方を一つ挙げるとすると、シンプルに…歩くことです。22年前に三島に初めて来て以来ずっと、桜川、源兵衛川、御殿川、宮さんの川の透き通った水と交差する、歴史のある曲がりくねった通りを歩くのが大好きです。私のように散歩をすることが好きな人は、もうすでにその楽しさを知っているでしょうね。

健康にいいということを除いても、散歩をすることで頭をリフレッシュさせ、気分を持ち上げることができます。また、その地域を本当によく知るための一番の方法でもあります。ドライブ中の車窓からは、スピードが速くなるにつれ、目で追いきれずに見過ごしてしまうものが多くなってくるでしょう。サイクリングはというと、景色を見るにはなかなか良い方法ではありますが、周りの人々や物と気軽に触れ合うには向きません。その道の雰囲気や生活のペースを感じ取るためには、歩くのが

唯一の方法です。気まぐれに歩く方向を変えてみるだけで、思ってもみなかったものを発見することができるのです。そしておそらく最も重要なことは、出会った人と「こんにちは」と顔を合わせて挨拶を交わし、そこから生まれる会話や笑顔を見ることができるということではないでしょうか。

インターネットでさっと検索すれば、散歩好きの人におすすめの街ランキングが見つかります。そのランキングの基準としては、公園や緑の多い静かな場所への近さ、空気の綺麗さ、公共交通機関へのアクセスの良さ、商業施設や学校の有無、清潔さと安全性などがあります。参考までに、私が生まれたカナダでは上記の理由から、バンクーバーが「歩行者のパラダイス」と称されています。

では、三島はどうでしょうか？このエッセイを書いている場所から少し歩けば、歩行者専用の歩道を通って駅に行けますし、砂利敷きの小浜通りに足を延ばせば、中郷温水池へと流れ込む美しい源兵衛川の源流にたどり着きます（私のお気に入りの散歩道の一つです）。自然を近くに感じたいければ、白滝公園を抜けて楽寿園まで歩くといいです。三島駅までは7分、そこから新幹線に乗り込むとたった35分で活気あふれる品川へ。狩野川沿いを走る伊豆箱根鉄道に34分揺られれば、美しい修善寺温泉にたどり着きます。

古代ギリシャの医師であり西洋医学の父であるヒポクラテス（紀元前460年～370年ごろ）は、こんな言葉を残しています。

「歩くことは人間の健康と長寿にとって最良の薬である。」
私もその通りだと思います。そして三島の街こそ、歩くことにぴったりの素晴らしい街ですよ！

NO.
2

災害に関する「やさしい日本語」

身近な外国人との コミュニケーション

～「やさしい日本語」で話してみよう～

「やさしい日本語」とは、普段使っている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことです。

あなたも「やさしい日本語」で、身近な外国人と話してみませんか。

9月1日は「防災の日」です。大正12年（1923年）9月1日に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した「関東大震災」に由来しています。この日を含む1週間が「防災週間」と定められているので、地域の防災訓練に参加した方も多いのではないのでしょうか。

今回は、地震が起きた時の案文を紹介します。いざという時のために、覚えておいてください。

- 発生 今日【午前・午後】00:00頃、[]で地震がありました。
※12時間表記が、わかりやすいです。
- 余震 余震（あとから来る地震）が、起きるかもしれません。
- 津波 津波（高い波）に気をつけてください。海（川）から離れて、高いところに避難して（逃げて）ください。

三嶋大祭り

「YUKATAでPARADE農兵節」を振り返って

三島商工会議所青年部 未来創造委員会
委員長 矢岸 雅隆



三島商工会議所青年部は、2020年に創立25周年を迎えます。私達、未来創造委員会では石川靖会長のもと25周年に向けた中期ビジョン「世界と三島をつなぐ」をスローガンに今年度も活動をしています。

未来創造委員会…未来を創る為には、歴史と文化に触れることから始めよう！そして2020年を見据え三島を世界に向けて発信しよう！その為には何をすれば良いのか、と委員会メンバーで意見を出し合った答えが、三島市近隣に住む外国人の皆さんに日本の文化である浴衣を着てもらい三嶋大祭りの農兵節パレードに参加しようというものでした。

パレード当日に参加された外国人が着ていた浴衣は、市民の方々からお譲りして頂いた浴衣です。その浴衣を外国人が着ている姿を見て、市民の皆様にも世界と三島のつながりを感じて頂けたと思います。またパレードに参加された外国人の皆様にも三島の歴史と伝統を肌で感じてもらうことができたのではないのでしょうか。

本番のパレードでは沿道から沢山の声援を頂き、曲と曲の間では青年部メンバーと外国人がハイタッチをして盛り上がり、パレード終盤では「MISHIMA! MISHIMA!」とコールが沸き起こるほどでした。

青年部メンバーも外国人も全員が笑顔で「I Love MISHIMA」だったと思います。今回の事業をきっかけにもっともっと様々な国際交流イベントを企画し、青年部中期ビジョンスローガン「世界と三島をつなぐ」のもと外国人の皆様と交流できればと思います。

最後になりますが、浴衣を提供して頂いた市民の皆様、農兵節の事前練習から本番まで参加して頂いた多くの外国人の皆様、三島商工会議所青年部未来創造委員会一同、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



★三島市国際交流協会 (MIRA) 事務局
TEL 976-1020・FAX 976-1021
★三島市国際交流室 TEL 983-2645
三島市中央町5-5三島市役所中央町別館



第54回 姉妹都市親善

英語スピーチ コンテスト

を応援にきませんか

参加者が自作のスピーチを披露します。
是非応援に来てください。



日時 10月15日(日) 13:00~

場所 中郷文化プラザ 2階 多目的ホール
(三島市梅名353-1 055-982-5100)

*例年と会場が変わっています。

内容 中学生の部、高校生・大学生・一般の部の2部門

NPO法人 VOIS 英語勉強会 in 三島

2017年 10月期 会員募集

基本的な通訳演習、静岡英語観光ガイドなど、
総合的な英語力向上を目指した上級者向けの勉強会です

場所: Cafe&スペース ほとり 三島市日の出町4-2

日時: 10月11日~3月7日

原則隔週水曜18:00~19:40 (全12回)

レベル目安: 英検準1級~ またはTOEIC 750~

参加費: 全12回 25,000円 (教材費 2,000円)

募集人員: 12名

申込締切: 先着順です。定員になり次第締め切ります

詳細はホームページ <http://vois-english.com>

お問い合わせ・お申込みは、メール voishp@yahoo.co.jp

または 090-1282-2746(花木さん)



ユズキ 鈴木 萌花さん
青山学院大学3年

パサディナ市派遣 夏期研修生

研修で感じたこと (感想文から)

スズキ ユズキ
鈴木 鼓さん
東京女子大学3年



最初の1週間は、フレンドシップ・プログラムに参加して、多くの名所や施設を見学しました。その中で、特に印象に残っているのは、憧れの名門校UCLAの広さ、校舎の大きさ・素敵さ、それと、全米日系人博物館です。戦争前後における日系人の方たちの多難な歴史、差別や偏見、過酷な生活環境に屈しない強い意志。現在当たり前のように日本人・日系人が安心してアメリカで過ごせるのは、先人たちが築いてきたものの結果なのだと気づけた感慨深い時間でした。

そして何よりも貴重だったのは、ホストファミリー

との時間でした。生活を共にすることで、文化の違いを自分の身で感じる事ができ、とても良い刺激になりました。彼らは、多民族国家において、互いに理解しようとする事が重要であるという考えを共有化し、差別や偏見を乗り越え、問題を解決しようと行動しているのです。パサディナの方々とのコミュニケーションを通して、アメリカの人々の考え方や生活を知り、彼らの温かさや優しさが心に沁みた3週間の研修でした。

麦畑 (広報委員・活動後記)

★フレンドシップ、世界に向けて日ごとにたくましく (S)

★ホームステイの楽しさ、課題、平易にPR (蛭)

★Happiness is taking a walk under the autumn leaves. (J)

★みんなの笑顔は言葉を超える! 中学生すこい! (青)

★片言と身振りで交流の中学生。心あれば通ず! (桜)

★訪日外国人に交流で示そう日本のすばらしさ (魚)

★秋探し、隣の国は何考えてるの??? (明)

★若者が世界と三島をつなぐ三嶋大祭り、大きく育てよう! (古)